



# Niigata University Campus Magazine

2005年冬号

## No.158

### CAMPUS INFORMATION

新大祭

学生保険Q&A

健康コラム

shindai NEWS

第54回関東甲信越大学体育大会

日本学生支援機構「優秀学生顕彰事業」

特集

# 新潟大学の

# 100冊

◎形態論 大石強(開拓社/1988年)◎シェイクスピア劇の中層的隠喩構造 佐々木充(多賀出版/1994年)◎詩の空間とく声—フランス近代詩と発話者— 高木裕(駿河台出版社/1994年)◎平安朝音楽制度史 荻美津夫(吉川弘文館/1994年)◎物は世界をどう見るか 鈴木光太郎(新曜社/1995年)◎日本近世の地域と流通 原直史(山川出版社/1996年)◎視覚の謎 本田仁視(福井出版/1998年)◎科学から哲学へ—知識をめぐる虚構と現実— 佐藤徹郎(春秋社/2000年)◎環日本海地域社会の変容「満蒙」・「間島」と「裏日本」 芳井研一(青木書店/2000年)◎ぎりぎり合格への論文マニュアル 山内志朗(平凡社新書/2001年)◎言葉の建築術—マンデリン・スターム研究1— 鈴木正美(群像社/2001年)◎チンギス=カンの考古学 白石典之(同成社/2001年)◎毒消し売りの社会史 女性・家・村 佐藤行(日本経済評論社/2002年)◎日本中世戦国期の地域と民衆 矢田俊文(清文堂/2002年)◎近代の漁撈技術と民俗 池田哲夫(吉川弘文館/2004年)◎ヘーゲル 生きてゆく力としての弁証法 栗原隆(NHK出版/2004年)◎お笑い進化論 井山弘幸(青弓社ライブラリー/2004年)◎神話から見た古代東地中海沿岸の文化交流 高橋秀樹(高志書院/2005年)◎日本映画はアメリカでどう観られてきたか 北野圭介(平凡社新書/2005年)◎平安期日記文芸の研究 石坂妙子(新典社/1996年)◎生涯学習から地域教育改革へ 相庭和彦(明石書店/1999年)◎地域の社会学 伊賀光屋(多賀出版/2000年)◎創造的技能領域における熟達化の認知心理学的研究 大浦容子(風間書房/2000年)◎知識獲得の課程:科学的概念の獲得と教育 中島伸子(風間書房/2000年)◎対話の倫理 向山恭一(ナカニシヤ出版/2001年)◎近代日本とアイヌ社会 麓慎一(山川出版社/2002年)◎新製品開発の失敗の本質 高山誠(東京図書出版会/2002年)◎公会計革命 桜内文城(講談社/2004年)◎水中火山岩—アトラスと用語解説— 山岸宏光(北海道大学図書刊行会/1994年)◎[徹底理解]線形代数 渡部剛・加賀利宏・吉原久夫(培風館/1997年)◎食べる免疫力 安保徹(世界文化社/2005年)◎口腔ケア 健康教育から在宅ケアまで 山本澄子ほか(朝日出版社/1991年)◎看護を支える知識と技術 西山悦子(中央法規出版/1995年)◎摂食障害の家族心理教育 後藤雅博(編・著)(金剛出版/2000年)◎学生のたのしいExcel 大久保真樹(考古堂/2004年)◎医療倫理学の方法 原則・手順・ナラティブ 宮坂道夫(医学書院/2005年)◎技術にも自治がある 大熊孝(農文協/2004年)◎哺乳類の生物学④社会 三浦慎悟(東京大学出版会/1998年)◎中国農村合作社の改革 青柳斉(日本経済評論社/2002年)◎シベリアの森林 阿部信行(日本林業調査会/2004年)◎満鉄調査部:関係者の証言 井村哲郎(アジア経済研究所/1996年)◎小町伝説の誕生 錦仁(角川選書/2004年)◎高志の城柵 小林昌二(高志書院/2005年)◎クーデタを裁く1932年7月20日事件法廷記録 山下威士(尚学社/2003年)

特集

# 新潟大学の

# 100冊

学生生活の中で、  
さまざまなものを見て触れて学び、  
身につけてほしい――。

新潟大学では多くの先生が多彩な分野で研究し、  
それらを書籍としてまとめています。

出版されている本の種類や数は、非常に豊富。

その中で厳選に厳選を重ね、

学生みなさんに読んでほしい本をピックアップしました。

興味のある分野の本をぜひじっくり読んで、

知識を身につけてください。

新潟大学の

# 100冊

●人文学部 ●教育人間科学部 ●経済学部 ●理学部 ●医学部医学科  
●医学部保健学科 ●工学部 ●農学部 ●現代社会文化研究科 ●実務法学研究科

## 01

### 形態論

大石 強(開拓社/1988年)

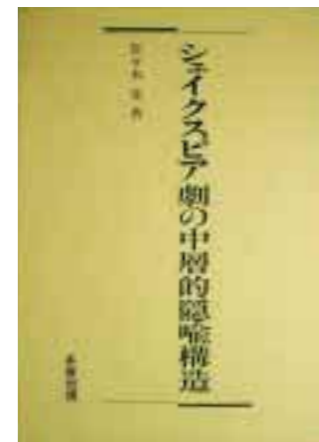


本書は、英語において可能な語はいかに作り出されるのか、また、作られた新語が文中で適切に用いられるための情報はどのように得られるかという視点から書かれており、生成文法の新知見を示すと共に、従来の問題の解決案も示している。昭和63年度に、英語学関係の優れた著書に与えられる市河賞を受賞した。

## 02

### シェイクスピア劇の中層的隠喩構造

佐々木 充(多賀出版/1994年)



「中層的隠喩構造」という聞きなれない題名にしてありますが、シェイクスピアの劇の表層と深層を結ぶ中間地帯をこのように名付けました。ここには様々な比喩やイメージがあり、組織体を形成し意味作用をなしています。それを追究したのがこの本です。

## 03

### 詩の空間と〈声〉―フランス近代詩と発話者―

高木 裕(駿河台出版社/1994年)



フランスのロマン派の詩人から、ネルヴァル、ボードレール、ヴェルレーヌにいたる象徴主義の詩人を対象に、詩のテキスト空間に読みとられる発話者の声の特徴に着目し、詩人は〈声〉の修辞を駆使することによって、いかに巧みに詩的空間を構築しているかを追究し、そこに近代詩の一つの特徴があると指摘した。

## 04

### 平安朝音楽制度史

荻 美津夫(吉川弘文館/1994年)



平安時代の王卿貴族社会において、音楽は政たる儀礼遂行の荘厳化を果し、他方では教養として彼らの間で奏楽された。その音楽機関として存在したのが雅楽寮や楽所であり、殿上や地下の楽家楽人が祇候し音楽が教習された。本書ではこれらの音楽機関の実態や変遷、その担い手である楽人・舞人の系譜や活動に関して明らかにした。

# 05

## 動物は世界をどう見るか

鈴木光太郎 (新曜社/1995年)



動物が世界をどのようにとらえているのかを、これまでのさまざまな研究をもとに考察したものです。とくに視覚に焦点をあてて、視力や視野の違い、色・形・動き・奥行きのとらえ方、方向感覚などを11の章で詳述しています。最後の章では、動物の感じている世界のシミュレーションがどこまで可能かも考えています。

# 06

## 日本近世の地域と流通

原直史 (山川出版社/1996年)



江戸時代、房総半島でさかんに生産されたイワシ魚肥の流通を対象に、漁村の生産者、輸送経路の運輸業者、集散地の問屋などが連携しながら作り上げられていく流通のシステムを全体として明らかにし、村々の駄賃稼ぎ層の動向など、こうしたシステムを動揺させる存在との対抗関係も含めて解明した。

# 09

## 環日本海地域社会の変容

「満蒙」・「間島」と「裏日本」  
芳井研一 (青木書店/2000年)



国民国家形成期に「辺境」とされた諸地域を襲った歴史の波を、「満蒙」・「間島」「裏日本」を基軸に描いた研究書である。近代日本が、日本海をはさんで向き合う諸地域の変容にどのように関わったかをふり返ることで、地域住民が協生する新たな地域間関係を築くことが出来るよう期待しつつ執筆した。

# 10

## ぎりぎり合格への論文マニュアル

山内志朗 (平凡社新書/2001年)



論文執筆法は「硬い」本ばかりなので、変化球のつもりで書いたのだが、類書がなかったせいかとても売れた。今では、定番としてロングセラーだそうだ。卒論を書く人は心構えを作るために読んでください。なお、「すぐに使えるフレーズ集」は、半分は冗談なのだが、全国で本気で使っている論文があると報告されている。注意すべし。

# 07

## 視覚の謎

本田仁視 (福村出版/1998年)



ものが見えるということは、私たちが考えているよりもはるかに複雑なしくみにもとづいている。本書では「人の顔だけが見えない」、「さっき見たものが目の前から消えない」といったさまざまな視覚・認知機能障害の症例報告を手がかりにして、「見る」という心のはたらきを支える脳のしくみを、わかりやすく解明していく。

# 08

## 科学から哲学へ

—知識をめぐる虚構と現実—  
佐藤徹郎 (春秋社/2000年)




この本の主なテーマは、「知識とは何か」「知識を伝えるとはどういうことか」といった基本的な問題に遡って、科学技術の知識と哲学や宗教から得られる知識との違いを明らかにすることです。知識の進歩や学問の進歩についての誤解を解き、個人の営みとしての知的探究の意義を再確認することが本書の目的と言えるでしょう。

# 11

## 言葉の建築術

—マンデリシュターム研究1—  
鈴木正美 (群像社/2001年)

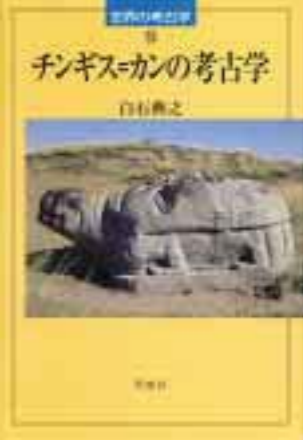


20世紀ロシアを代表する詩人オシップ・マンデリシュターム(1891-1938)の第1詩集『石』(1913)を中心に彼の初期作品を詳細に分析し、詩の創造のプロセスについて考察する。言葉、フランス・ヴィヨン、ゴシック建築、引用、映画、音楽、進化論など比較文学・文化的なさまざまなアプローチを試みる。

# 12

## チンギス=カンの考古学

白石典之 (同成社/2001年)



ユーラシアの東西にまたがる巨大国家モンゴル帝国。それを築いたのがチンギス=カン。有名だが謎の多い人物だ。それは文字資料が伝説的で信憑性がないからだ。そこで筆者は文字ではなく、遺跡や遺物を扱う考古学から検討した。本書では平易な語り口と豊富な写真・図版によってチンギス=カンの真の姿が浮き彫りにされている。

13

## 毒消し売りの社会史 女性・家・村

佐藤康行(日本経済評論社/2002年)



薬売りといえば富山が有名ですが、越後の女性たちも毒消し売りをしていました。身近な女性の人生を辿ることによって、普通の女性たちが日本のなかでいかなる近現代史を生きてきたかを等身大でとらえようと考えました。私たちはいま歴史のなかで何を伝えていくのか。この問いにたいして、私なりに出したささやかなひとつの答えです。

14

## 日本中世戦国期の地域と民衆

矢田俊文(清文堂/2002年)



日本中世の戦国期の村・村連合、都市、豊臣期以後の統一権力の地域支配に関する論文を集めたもの。従来の歴史学の枠組みによる研究だけではなく、中世考古学の成果を取り入れた論文や、自然と人間の関係を考える歴史学をめざして執筆された明応地震の津波被害をうけた港湾都市橋本・安濃津に関する論文も収められている。

17

## お笑い進化論

井山弘幸(青弓社ライブラリー/2005年)



科学論という看板を背負っている私がどうして《お笑い》の本を書いたかと言うと純粋に好きだからです。爆笑オンエアバトルの審査員をやったり、売れない芸人さんのために台本を書くのも、お笑いが好きだからです。今書いている科学的発見論が仕上がったら、やはり好きだという理由で、宮澤賢治のことも書いてみたいと思っています。

18

## 神話から見た古代東地中海沿岸の文化交流

高橋秀樹(高志書院/2005年)



欧米の文明の源とされる古代ギリシア文明に近隣諸文明が大きな影響を与えていたことを、新しい観点から強調しようとする研究が少しずつ出てきている。そのため、古代ギリシア文明と近隣諸文明の均質性と異質性の両面が改めて検討されねばならなくなっている。本書は、神話の比較からこの問題に取り組もうとするものである。

15

## 近代の漁撈技術と民俗

池田哲夫(吉川弘文館/2004年)



江戸時代末期に佐渡で開発された「佐渡式イカ釣具」は、近代以降日本海沿岸地域に急速に伝わり広まりました。本書では、その分布と伝播のありようについて、従来の民俗学の伝播論に「技術移動」という新たな概念を提示して、伝播の実態を体系的に明らかにしようとしたものです。

16

## ヘーゲル 生きてゆく力としての弁証法

栗原 隆(NHK出版/2004年)



狭量で未形成な意識が直面する矛盾・対立を〈自ら否定する〉ことを通してこそ、思弁的理性へと教養形成や認識の進展が図られることを跡付ける論理であった弁証法は、矛盾・葛藤に苛まされる人生の難局を突破する方途を指し示しもすることが出来ることを、ヘーゲルの最新のテキストに基づいて明らかにした。

19

## 日本映画はアメリカでどう観られてきたか

北野圭介(平凡社新書/2005年)



自分が日ごろ見慣れているものが、異なる国の人には別様に見られていた。そんな経験は、国際化がすすむ昨今めずらしいことではない。映画もまた、土地が変われば鑑賞の仕方が変わってしまうことが少なくない。日米を行き来する中、日本映画の捉え方が二つの国で大きく違うことに気づいた筆者の経験をもとに書かれた本。

20

## 平安期日記文芸の研究

石坂妙子(新典社/1996年)




平安時代・日記文学・女房・周縁の視点、これが本書のキーワードです。ある侍女(土佐日記の語り手)・道綱母・和泉式部・紫式部・孝標女たちが、貴人に仕える女房という立場からいかにして〈作家〉に転身したか、について考察しています。物語でもなく、出来事の単なる記録でもない日記文学の特質を知りたい方にお勧めです。

# 21

## 生涯学習から地域教育改革へ

相庭和彦(明石書店/1999年)




本書は、戦後我が国の地域教育政策がどのような特色をもって展開されたのかを概観したものです。この政策の特色を把握するため本書では、生涯学習論の視点から地域社会の変遷を分析しました。やや、専門的記述が多いですが、地域教育の歴史や地域文化政策の分析、および生涯学習論に関心のある学生に読んでもらいたい本です。

# 22

## 産地の社会学

伊賀光屋(多賀出版/2000年)



本書は、産地の活力を「共同効果」や「範囲(特化)の経済」から説明している柔軟な特化の理論を批判し、諸産地の比較調査に基づいて競争力の源泉が「インフォーマリティ」の活用や「時間の経済」の追求にあることを明らかにした。日本労働社会学年報第12集、地域社会学年報第15集に書評あり。

# 25

## 対話の倫理

向山恭一(ナカニシヤ出版/2001年)



世界では「文明の衝突」と呼ばれる紛争がまだ絶えませんが、その多くは自分のアイデンティティに固執することから生まれています。そうであるならば、意見のちがう人たちとの対話をつうじて、自分をしなやかに変えていく倫理がもてめられているのではないでしょうか。そんなことを本書では論じてみました。ぜひ一読を。

# 26

## 近代日本とアイヌ社会

麓 慎一(山川出版社/2002年)




近代日本とアイヌ社会の関係を歴史的視点から分析した本です。特に1899(明治32)年3月に制定された「北海道旧土人保護法」の歴史的意義とその影響を中心に日本とアイヌ社会の関係を検討しました。この本を読めば、明治という国家が何を考えてアイヌ政策を推進していたのかを具体的に知っていただけたと思います。

# 23

## 創造的技術領域における熟達化の認知心理学的研究

大浦容子(風間書房/2000年)




音楽のエキスパートになるというのはどういう事なんだろう?どんな練習をすると上手に演奏できるようになるんだろう?そもそも音楽を聴いている時、私たちの頭の中でどのようなことが起きているんだろう?音楽が好きで、音楽の理解と享受のメカニズムや「エキスパートになる」事に興味を持っている人にお薦めします。

# 24

## 知識獲得の過程:科学的概念の獲得と教育

中島伸子(風間書房/2000年)




小さな子どもでも、日常経験に基づいて身の回りの物事についての首尾一貫した日常的概念を構成するが、それは科学的概念と対立することが多い。本書ではこうした科学的概念を子どもはどのように理解し、それは発達に伴いどのように変化するのか、有効な教授法はどのようなものかを筆者の行った調査結果をもとに論じている。

# 27

## 新製品開発の失敗の本質

高山 誠(東京図書出版会/2002年)



画期的な新製品をいかに出し続けるか。この永遠の課題を、新薬開発を巡る日本企業の失敗事例の分析をもとに探る。戦略的な提携などで他社技術を積極導入し、絶えず研究開発の間口を広げているだけでは、継続的な成功は望めない。市場シェアに安住していると新市場を作る商品の開発に失敗する。業種を問わず通じる教訓を語っている。

# 28

## 公会計革命

桜内文城(講談社/2004年)



「日本の政治、経済、民主主義を立て直したい」という思いで開発した公会計システム「国ナビ(国家財政ナビゲーションシステム)」について、公会計のあるべき姿を描いている。会社が株主によりチェックされているように、国民が主権者として国の会計の良し悪しを直接チェックする方法と考え方を示している。公会計だけでなく国のあり方に関心を持つことができる。

# 29

## 水中火山岩 —アトラスと用語解説

山岸宏光(北海道大学図書刊行会/1994年)




海底など水中で形成された火山岩は陸上とは異なった形態をしめす。このような火山岩について、その成因や組成の違いにもとづく様々な形態について、世界や日本各地から集めた実際例を写真と図版で示した。火山地質学に関する著書は多数あるが、水中火山岩のみを扱った本書は世界でも類がない。用語解説と和英対訳付き。

# 30

## [徹底理解] 線形代数

渡部 剛・加賀利宏・吉原久夫(培風館/1997年)



重要な基本的事項を豊富な例とともに徹底的に詳しく解説し、間違いやすい所はキケンロゴを置いて特に注意を喚起してある。また随所にコラムを入れて関連事項の別の視点からの知識を与えて興味を持たせる工夫もしてある。

# 33

## 介護を支える知識と技術

西山悦子(中央法規出版/1995年)




本著は、「家庭看護講座」において、一般の方がレベルの高い介護ができるための医学、生理学、看護学の基本と技術をまとめたものである。これらの知識を基に、介護に携わる人々が、1人ひとりのお年寄りに合った方法を工夫し、作り上げて介護にあってほしい。「介護」は人ごとのように思われる方も多いかと思うが、男性でも、女性でも、重要な自分の家族の健康に対して自信を持って対応するために、是非本書を役立ててほしい。

# 34

## 摂食障害の家族心理教育

後藤雅博(編・著)(金剛出版/2000年)



疾病や障害についての正確な情報、知識を家族と共有し、さらに家族グループで日常的な対処法を学ぶ「家族心理教育」は統合失調症や気分障害に有効とされている。それを摂食障害に適用するためのガイドブック。総論からプログラム運営のノウハウ、評価法まで実践者が解説しており、すぐ使用できる資料も豊富に収録している。

# 31

## 食べる免疫力

安保 徹(世界文化社/2005年)



免疫力を高めることにより、がん、アトピー性皮膚炎や慢性疾患も治るという安保理論を日常の食物を通じてどのように実践できるかを身近なところから説明。免疫理論の勉強と食生活の改善の両方が図れる。しかも簡単に調理できるものばかりなので、一人暮らしの生活改善の参考になる。

# 32

## 口腔ケア 健康教育から在宅ケアまで

山本澄子ほか(朝日出版社/1991年)



歯科医師と看護職の歯周疾患に対する連携の必要性から作られた書籍である。歯周疾患が日常生活習慣に大きく関与していることから、患者の日常生活上における口腔ケアの理解と重要性を考え、実践への活用教材として、口腔のしくみ、健康、保清、ケア、対策等を考えたものである。

# 35

## 学生のためのExcel

大久保真樹(考古堂/2004年)




学生の多くは、Excel(表計算ソフト)を「一応使える」ようです。しかし、その使い方をみると、自己流で、効率の悪い使い方をしている人が大勢いました。この本は、「自分は使えてから大丈夫」と思い込んでいる方にお勧めします。「一応使える」から「使いこなせる」へ、ステップアップすることが目標です。

# 36

## 医療倫理学の方法 原則・手順・ナラティブ

宮坂道夫(医学書院/2005年)




この本は、米欧で発達してきた医療倫理学の理論を消化して、安楽死、生殖医療、臓器移植など、医療倫理の問題を詳細に考えるための手がかりを提供しようという意図で書きました。医療の道へ進む人にも、そうでない人にも読んでもらいたいと思います。「意見は異なっても、方法は共有できる」というのが、この本の姿勢です。

# 37

## 技術にも自治がある

大熊 孝(農文協/2004年)




明治時代以降、公共事業における技術は、国の補助金や技術基準によって国に独占されてきたが、それが地方分権の時代にはなじまない状況になってきた。本書では、日本の自然の特徴を縄文文化から明らかにし、その豊かな自然を前提として地域住民が担ってきた川文化をローテクとハイテクの融合によって再生することを問うた。

# 38

## 哺乳類の生物学④社会

三浦慎悟(東京大学出版会/1998年)



世界には4800種の哺乳類がいる。ネズミからゾウまで、サイズと形態は多彩であり、そこには、高い知能と個性あふれる行動によって織りなされる多様な社会構造や配偶システムが展開されている。この本は、行動生態学の視点から彼らの社会がどのように進化したのかを追跡した。それはヒトの社会へとつながっていく。

# 41

## 満鉄調査部・関係者の証言

井村哲郎(アジア経済研究所/1996年)




満鉄調査部は戦前日本では最大の調査機関であり、中国、ソ連調査を精力的に行なった。4万点をこえる報告書、雑誌論文などが残されており、戦前期の中国を研究する際には必須のものも多い。本書はそこに所属した人たちによる調査課題の設定、調査方法とその問題点などについての座談会、聞き取りの記録である。現在は絶版。

# 42

## 小町伝説の誕生

錦 仁(角川選書/2004年)



小町伝説は誰によって作られ、どのように改変され、伝えられてきたのだろうか。本書では、全国に百以上もある小町伝説地から秋田県湯沢市雄勝をとりあげ、詳細に検討する。従来の民俗学的研究を超克し、また通説を否定し、新しい方法で日本文化の基層にすどく迫った。

# 39

## 中国農村合作社の改革

青柳 齊(日本経済評論社/2002年)




本書の基本的なテーマは、中国の供銷合作社(購買販売協同組合)の展開過程と現状の分析を通して、共産党政権下の現代中国における農民協同組合の展開可能性を探ることである。内容の多くは、供銷社の歴史的経過や現状の問題、改革方向、展望に関して、文献・資料や現地調査に依拠して解説している。

# 40

## シベリアの森林

阿部信行(日本林業調査会/2004年)



本書はロシアの研究成果を翻訳して紹介しているので貴重であり、シベリアの森林状況がよく分かるでしょう。一方、森林調査やシベリア森林研究所に滞在した際の出来事はコラム欄で紹介している。シベリアの自然、そこに暮らす人々、ロシアの事情を熱く紹介しており、読後、シベリアの森に行ってみたく感じることでしょう。

# 43

## 高志の城柵

小林昌二(高志書院/2005年)



研究成果を社会に還元しようと人文学部選書の第1冊として企画された。『日本書紀』大化3年(648)条で知られながら未発見の「浄足柵」など北陸・高志の城柵の先端的調査と研究をわかりやすく論述したものである。1990年に発見された「沼垂城」木簡などで広がった新しい歴史像が浮かび上がっている。

# 44

## クーデタを裁く 1932年7月20日事件法廷記録

山下威士(尚学社/2003年)



埼玉大学から新潟大学へ、山を越えて赴任してきのは、ここに盛られた資料を読みこむためでした。1932年7月20日事件という、ドイツ・ヴァイマルの時の首相パーベンによる、憲法無視のクーデタをめぐる国事(憲法)裁判を扱っています。その7日間にわたる法廷での緊迫したやりとりは、下手なドラマよりも、よほど面白いものです。私が、これについての最初の原稿を発表してからでも17年がたっている、まことに遅々とした歩みを続けている、私の研究の最近の集大成です。

著書名	著者名	所属	出版社名	発行年
普遍論争	山内志朗	人文学部	哲学書房	1992
眼球運動と空間定位	本田仁視	人文学部	風間書房	1994
偶然の科学誌	井山弘幸	人文学部	大修館書店	1995
鏡のなかのインシュタイン	井山弘幸	人文学部	化学同人	1998
西域文書からみた中国史	關尾史郎	人文学部	山川出版社	1998
日本中世戦国期権力構造の研究	矢田俊文	人文学部	塙書房	1998
意識／無意識のサイエンス	本田仁視	人文学部	福村出版	2000
アルカイック期アテナイと党争	高橋秀樹	人文学部	多賀出版	2001
天使の記号学	山内志朗	人文学部	岩波書店	2001
ハリウッド100年史講義	北野圭介	人文学部	平凡社新書	2001
モンゴル帝国史の考古学的研究	白石典之	人文学部	同成社	2002
ライブニッツ:なぜ私は世界にひとりしかいないのか	山内志朗	人文学部	日本放送出版協会	2003
デモクラシー・リフレクション	伊藤守・渡邊登・松井克浩・杉原名穂子	人文学部	リベルタ出版	2005
笑いと哲学の微妙な関係	山内志朗	人文学部	哲学書房	2005
熱力学	横田伊佐秋	理学部	岩波書店	1987
北海道の地すべり地形	山岸宏光	理学部	北海道大学図書刊行会	1993
大学における共通通知のありか	栗原隆・濱口哲共編	理学部	東北大学出版会	2005
精神科リハビリテーション(1) 援助技法の実際	後藤雅博・伊藤順一郎・遊佐安一郎編・著	医学部保健学科看護学	星和書店	1995
SSTの進歩	SST普及協会(「SSTの進歩」編集委員会:後藤雅博・安西信雄・天笠崇・池淵恵美ほか4名)	医学部保健学科看護学	創造出版	1996
家族教室のすすめ方ー心理教育的アプローチによる家族援助の実際ー	後藤雅博編・著	医学部保健学科看護学	金剛出版	1998
医療倫理 よりよい決定のための事例分析(2)	ベンス(宮坂道夫・長岡成夫訳)	医学部保健学科看護学	みすず書房	2000
看護学I 改訂版	山本澄子	医学部保健学科看護学	七賢出版	2000
医療倫理 よりよい決定のための事例分析(1)	ベンス(宮坂道夫・長岡成夫訳)	医学部保健学科看護学	みすず書房	2001
臨床検査技術学13 免疫検査学 第3版	折笠道昭ほか	医学部保健学科検査技術科学	医学書院	2003
IVRの臨床と被曝防護	中村仁信・富樫厚彦・諸澄邦彦	医学部保健学科放射線科学	医療科学社	2004
ブックレットシリーズ3 IVRに伴う放射線皮膚障害の防止に関するガイドラインーQ&Aと解説ー	栗井一夫・水谷宏・富樫厚彦ほか共編	医学部保健学科放射線科学	医療放射線防護連絡協議会	2004
放射線安全管理学	富樫厚彦・鈴木昇一・西谷源展共著	医学部保健学科放射線科学	オーム社	2005
利根川治水の変遷と水害	大熊孝	工学部	東大出版会	1981
洪水と治水の河川史	大熊孝	工学部	平凡社	1988
川を制した近代技術	大熊孝編・著	工学部	平凡社	1994
川がつくった川、人がつくった川	大熊孝	工学部	ポプラ社	1995
動物と植物の利用しあう関係	箕口秀夫(分担執筆)	農学部	平凡社	1993
作物の生理・生態学大要	池田武編・著	農学部	養賢堂	1995
種子散布ー助け合いの進化論<1>	紙谷智彦(分担執筆)	農学部	築地書館	1999
野生動物の生態と農林業被害	三浦慎悟	農学部	全国林業改良普及協会	1999
植物資源生産学概論	池田武・葭田隆治編・著	農学部	養賢堂	2000
土壌・肥料・植物栄養学用語集	日本土壌肥料学会編・大山卓爾(分担執筆)	農学部	養賢堂	2000

著書名	著者名	所属	出版社名	発行年
植物栄養学	森敏他編・大山卓爾(分担執筆)	農学部	文永堂	2001
「植物栄養・肥料の事典」	事典編集委員会編・大山卓爾(分担執筆)	農学部	朝倉書店	2001
生殖工学のための講座ー卵子研究法ー	新村末雄(分担執筆)	農学部	養賢堂	2001
生態学からみた身近な植物群落の保護	紙谷智彦(分担執筆)	農学部	講談社サイエンティフィック	2001
転作全書(第二巻)ダイズ・アズキ	大山卓爾・高橋能彦(分担執筆)	農学部	農文協	2001
微生物からのメッセージー21世紀に活かす道	堀秀隆他編・大山卓爾(分担執筆)	農学部	エンタープライズ	2001
動物たちの気になる行動(1)	箕口秀夫(分担執筆)	農学部	裳華房	2002
次世代の農業開発ーニューナノテクノロジーによる探索と創製	日本農業学会編・堀秀隆(分担執筆)	農学部	ソフトサイエンス社	2003
粗食は大敵ー長生きする人ほど、肉も魚もよく食べるー	鈴木敦士・田島真	農学部	はまの出版	2003
玄米黒酢農法	池田武ほか2名	農学部	農文協	2004
新編農学大事典	事典編集委員会編・大山卓爾・末吉邦(分担執筆)	農学部	養賢堂	2004
生命の誕生に向けてー生殖補助医療(ART)胚培養の理論と実際ー	新村末雄(分担執筆)	農学部	近代出版	2005
農業経営の新展開とネットワーク	青柳斉(分担執筆)	農学部	農林統計協会	2005
農協の経営問題と改革方向	青柳斉	農学部	筑波書房	2005
Bacillus thuringiensis 殺虫蛋白質の科学ー環境保全型生物農薬から抗ガン活性まで	堀秀隆(分担執筆)	農学部	アイピーシー出版	2005
申命記の文献学的研究	鈴木佳秀	現代社会文化研究科	日本基督教団出版局	1987
中世和歌の研究	錦仁	現代社会文化研究科	桜楓社	1991
旧約聖書の女性たち	鈴木佳秀	現代社会文化研究科	教文館	1993
百人一首倉山抄	錦仁	現代社会文化研究科	和泉書院	1995
1940年代の東アジア:文献解題	井村哲郎	現代社会文化研究科	アジア経済研究所	1997
日本古代の村落と農民支配	小林昌二	現代社会文化研究科	塙書房	2000
浮遊する小野小町	錦仁	現代社会文化研究科	笠間書院	2001
良くある質問 分析化学の基礎 反応と計算	澤田清・山田真吉	自然科学研究科	講談社(講談サイエンティフィック)	2005
カール・シュミット研究 危機政府と保守革命運動	山下威士	実務法学研究科	南窓社	1986
憲法学と憲法	山下威士	実務法学研究科	南窓社	1987
改訂増補版 平和と人権の法	山下威士・根森健・山下泰子	実務法学研究科	南窓社	1991
大学生のやり方	山下威士・水谷暢・栗原眞佐子編	実務法学研究科・現代社会文化研究科・法学部	尚学社	1997
法律文献学入門ー法令・判例・文献の調べ方	西野喜一	実務法学研究科	成文堂	2002
産廃法談ー法学者のウラ読み廃棄物処理法	北村喜宣・福土明・下井康史	実務法学研究科	環境新聞社	2004
Q&Aこんな時どうする?個人情報保護	鈴木正朝・岡村久道	実務法学研究科	日本経済新聞社	2005
これだけは知っておきたい個人情報保護	鈴木正朝・岡村久道	実務法学研究科	日本経済新聞社	2005
新版 女性の権利 ハンドブック女性差別撤廃条約	赤松良子監修・国政女性の地位協会編・山下威士ほか著	実務法学研究科	岩波書店	2005



# Booklet

NIIGATA UNIVERSITY  
ブックレット 新潟大学

ブックレット新潟大学は、新潟大学の博士課程の大学院が教育研究活動の一端を社会に向けて発信するものです。現代社会文化研究科の発案により、平成14年から地域貢献活動の一つとして刊行をスタート。中高校生から社会人までの広い世代を読者層として、専門的な内容を読みやすく執筆しています。



著書名	著者名	所属	発行年
「日本海」という呼称	芳井研一	人文学部	2002年 2月
「能」と佐渡・越後	荻美津夫	人文学部	2002年 2月
新潟から考える環境倫理	栗原 隆	人文学部	2002年 3月
敦煌への道	関尾史郎・玄 幸子	人文学部	2002年 8月
食べる	花田晃治・野田忠ほか	歯学部	2002年 8月
ロシアはどこからやって来たか	中沢敦夫	人文学部	2002年10月
あなたの知らない英語の法則	大石 強・秋 孝道	人文学部	2002年10月
にいがたビジネス物語	永山庸男・澁谷寛・齋藤達弘	経済学部	2002年12月
新潟の戦後補償	西埜 章	法学部	2002年12月
良寛のひとり遊び	中西久味	人文学部	2003年 2月
「お笑い」を学問する	井山弘幸	人文学部	2003年 2月
昆虫を殺すウイルスの話	早川 徹	自然科学研究科	2003年 2月
新潟に多い病気	山本正治ほか	医学部	2003年 4月
失った体への対応	高橋姿・柴田実ほか	医学部・医歯学総合病院	2003年 4月
接合の科学	大橋修・山口典男	自然科学研究科	2003年 6月

著書名	著者名	所属	発行年
腎臓の病気とその研究	山本 格ほか	医学部	2003年 6月
最新医療のはなし	梁矢俊幸ほか	医学部	2003年 6月
〈女〉で読むドイツ文学	三浦 淳	人文学部	2003年 8月
分子がつくる香りの世界	萩原久大・吉井文子	自然科学研究科	2003年 8月
アブラハム 約束を背負わされた父と子	鈴木佳秀	現代社会文化研究科	2003年10月
留学生と新潟の国際化	南方 暁・柴田幹夫ほか	国際センター	2003年10月
続・食べる	山田好秋ほか	歯学部	2003年10月
越後ごぜうた文藝談義	鈴木孝庸	人文学部	2004年 2月
ウラジオストクへの旅	佐藤芳行・イゴリ・サヴェリエフ	経済学部	2004年 2月
顔から学ぶ	花田晃治・寺田真人ほか	歯学部・医歯学総合病院	2004年 2月
コメの国際市場	小澤健二	経済学部	2004年 4月
脳の神秘と疑問	那波宏之ほか	脳研究所	2004年 4月
新潟大学法科大学院はこうして生まれた	鯉越溢弘	実務法学研究科	2004年 6月
弥彦・角田山から地球環境を考える	山岸宏光・濱口哲ほか	理学部	2004年 6月
夢を実現する超伝導	山口 貢・福井 聡	工学部・自然科学研究科	2004年 8月
『食べる』成育編	野田 忠・田口 洋ほか	歯学部・医歯学総合病院	2004年 8月
これからの教育に必要なこと	齋藤 勉	教育人間科学部	2004年10月
古代新潟の歴史を訪ねる	小林昌二	現代社会文化研究科	2004年10月
果実のホルモン	児島清秀	自然科学研究科	2004年12月
新潟の花こう岩の生い立ちを読む	加々美寛雄・志村俊昭	自然科学研究科・理学部	2005年 1月
信濃川の悲劇 減水問題	西澤輝泰・永井雅人	経済学部	2005年 1月
日本人はスギ花粉症を克服できるか	平 英彰	自然科学研究科	2005年 2月
薬とリスク	石原 清ほか	医学部	2005年 5月
深読みシェークスピア	佐々木 充	人文学部	2005年 5月
ルミネッセンス(発光)で探る古代情報	橋本哲夫	理学部	2005年 5月
新潟発『食べる』	山田好秋・鈴木敦士ほか	歯学部・農学部	2005年 5月

第46回新大祭、テーマは「彩」。今年も無事に終わることができました。これも数多くの方々のご協力のおかげです。そんな今年の新大祭を少しでも振り返ります。

新大祭常任委員会委員長 経済学部3年 石田 貴帆

# 第46回 新大祭

2005/10  
29-30

shindai festival

## エネルギーシンポジウムキャラバン2005

今年は例年の講演会に代わり、主催を東北経済産業局、共催を新大祭常任委員会として、「エネルギーシンポジウムキャラバン2005」を開催しました。主な内容としては、第1部にタレントの眞鍋かをりさんをお招きしてのエネルギーに関する講演、第2部に新大生代表3名、理学部の橋本教授、そして眞鍋さんによるパネルディスカッション、第3部にエネルギークイズ大会を行い、眞鍋さんのトークにより会場は大盛り上がり。またエネルギーに関する知識も増えるシンポジウムでした。なお、このシンポジウムは新潟大学の他にも秋田、戸工工業、いわき明星、東北、弘前の5大学で行われました。

大盛況!



雨の中たくさんの方が来場してくださいました



shindai festival

## Jackson vibe LIVE

今年も第一食堂前特設ステージにて「Jackson vibe LIVE」が開催されました。前日に降っていた雨も止み、時折晴れ間も見られる中でのライブとなりました。ライブは入場無料、人数制限なしで行われ、学生から家族連れ、地域の方々などたくさんのお客様にご来場いただきました。ドラマの主題歌に起用された「朝焼けの旅路」でライブがスタートするとお客様も増え、場内は盛り上がりを見せました。Jackson vibeは聞き手を惹き付ける、熱いライブパフォーマンスをしてくれました。良い音楽をたくさんの方々に楽しんでいただくことができ、Jackson vibe LIVEは大好評のうちに幕を閉じました。



shindai festival

## プリンセスコンテスト2005 ~Love Letter~

今年のプリコンでは7名の新大生がエントリー。新大祭の総合テーマ「彩」に相応しく彩り鮮やかにプリコンが開催されました。美容室の協力により出場者にはプロの手でヘア・メイクが施され、美しく、華やかに変身! テーマ「Love Letter」に沿い、行われたラブレターの朗読では、恋人や友達、家族といった大切な人、または熱中していることに対して想いを込めたメッセージが読み上げられ、会場中は感動に包まれました。他にもバンド演奏、寸劇やダンスなど、各々の特技と個性を生かしたバリエーション豊かなアピールを披露、その輝きを余すことなく発揮できたようです。

プリンセス候補  
勢ぞろい



出場者とスタッフで記念撮影

shindai festival

## でんしゃおとこ

ステージ企画部は、新大祭の最後を飾る企画として「でんしゃおとこ」を行いました。心配されていた天候にも恵まれ、200人を超える観客の皆さんに集まっていただきました。クイズや早食い競争などで出場者に競ってもらい、大変盛り上がりました。加えて、一般の皆さんに景品をプレゼントする抽選会では、観客の皆さんにも大変喜んで頂けました。最後まで新大祭の熱を冷ますことなく、大盛況のまま締めくくることが出来たと思います。

司会も大変です



男同士のポッキーゲーム



来年もぜひ新大祭に来てください!

# 学生保険



学生教育研究災害傷害保険等は、(財)日本国際教育支援協会が取り扱っているもので、全国の国・公・私立大学の学生を対象として、学生が身体に傷害を受けた場合の補償制度です。本学では全員加入することとなっており、保険料は、修業年限分を入学時に一括納入することとなっています。

## 学生教育研究 災害傷害保険 関係事項

### Q1 学生教育研究災害傷害保険とはどのようなものですか。

この保険は、大学に学ぶ学生の被る種々の教育研究活動中及び通学中の災害に対する災害補償制度です。

→学務部学生生活支援課へ

### Q2 学生教育研究災害傷害保険において教育研究活動中とはどういうことですか。

1. 正課を受けている間
2. 学校行事に参加している間
3. 前記1・2以外で学校施設内にいる間
4. 学校施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間

のことで、  
なお、「病気」はこの保険の対象となりません。

→学務部学生生活支援課へ

### Q3 学生教育研究災害傷害保険において通知義務とはどういうことですか。

学部もしくは学科等を変更したとき、退学したとき、通算して1年以上休学したときは所定の手続きが必要となりますので、所属学部の学務係へ申し出てください。

→各学部学務係へ

### Q4 学生教育研究災害傷害保険において保険料の請求・返還はどのようにすればよいですか。

学部又は学科等の変更をした場合、適用保険料に変更が生じたときは、変更があった年度以降について、その差額保険料を請求または返還します。退学した場合、退学した翌年度以降について保険料の全額を返還します。

→各学部学務係へ

### Q5 学生教育研究災害傷害保険において事故通知はどのようにすればよいですか。

保険事故が発生したときは、ただちに事故の日時・場所・状況・傷害の程度を遅滞なく所属学部の学務係へ連絡するとともに、事故通知はがきを受け取り東京海上日動火災保険(株)静岡損害サービス課に通知してください。通学中及び学校施設等相互間の移動中の事故が発生したときは、事故通知に加え、通学中事故証明書または施設間移動中事故証明書を記入のうえ、東京海上日動火災保険(株)静岡損害サービス課に提出してください。

→各学部学務係へ

## 学生教育研究 賠償責任保険 関係事項

### Q1 学生教育研究賠償責任保険とはどのようなものですか。

国内において、学生が、正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償します。

→学務部学生生活支援課へ

### Q2 学生教育研究賠償責任保険において対象となる活動とはどのようなものですか。

1. 正課、学校行事及びその往復
  2. インターンシップ、介護体験活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復。
- ただし、学校が、正課、学校行事、課外活動として認めた場合に限りです。(臨床・看護等の医療関連全般の実習を除く)

→学務部学生生活支援課へ

### Q3 学生教育研究賠償責任保険において課外活動とはどのようなものですか。

課外活動とは、インターンシップ・ボランティア活動を実施することを目的として組織され、大学の学内学生団体としての承認を受けた団体の管理下の活動をいいます。

→学務部学生生活支援課へ

### Q4 学生教育研究賠償責任保険において事故通知はどのようにすればよいですか。

保険事故が発生したときは、電話にて東京海上日動火災保険(株)静岡損害サービス課(電話0120-868-066)へ自分の氏名・年齢・大学名、事故発生日・時刻、事故発生場所、被害者の氏名・年齢、事故の原因、被害(傷害・損壊等)の程度を連絡するとともに、所属学部学務係へ事故にあったこと及び保険会社へ連絡した内容を報告してください。

→各学部学務係へ

医学部では、固有の事故に対する補償を付加した「医学生総合補償制度」、「医療系学生総合補償制度」に、歯学部では、「歯学生総合補償制度」、「歯科医療系学生総合補償制度」に、また、医歯学総合研究科及び保健学研究科では、「医療系大学院生総合補償制度」にそれぞれ加入することとなっています。  
また、実務法学研究科は、人格権の侵害に対する補償を付加した「法科大学院生教育研究賠償責任保険」に全員加入することとなっています。

■連絡先/学務部学生生活支援課生活支援係 TEL 025-262-6088

## 共通事項

### Q1 学生教育研究災害傷害保険等において保険料及び保険期間についてはどうなっていますか。

例)平成17年度入学者  
人文・教育人間科・法・経済=4,800円(4年間分)  
理・工・農=5,500円(4年間分)  
医(医)=62,970円(6年間分)  
医(保)=45,070円(4年間分)  
歯(歯)=62,970円(6年間分)  
歯(口)=45,070円(4年間分)  
夜間主コ-ス(経済)=2,900円(4年間分)  
いずれも修業年限が保険期間です。

→学務部学生生活支援課へ

### Q2 学生教育研究災害傷害保険等において加入受付期間についてはどうなっていますか。

原則として、新入生は入学手続期間、在学生は4月1日~4月30日及び10月1日~10月31日です。

→学務部学生生活支援課へ

### Q3 学生教育研究災害傷害保険等の保険期間中に休学、留年となる場合はどうすればよいですか。

休学の場合、休学期間終了後、休学期間に応じた保険料分担保金を返還します。(1年未満の端日数は切り捨て)  
保険期間は延長されませんので、その後の保険適用を受けるためには、保険期間終了後に新たに保険の加入手続を行うことが必要です。留年の場合、所定の修業年限が終わったら、自動的に保険期間は終了します。保険を延長したい場合は、保険期間が終了する前までに加入手続を行ってください。

→学務部学生生活支援課へ

## 健康コラム

# AEDを知っていますか?

保健管理センター 鈴木芳樹

AED(Automated External Defibrillator)は、自動体外式除細動器のことです。心臓が停止状態(心停止)になった時、心電図を自動的に分析して心室細動が否かを判断します。その場合は電気ショックを実行し、脈を正常に戻して心臓の収縮を再開させます(電気的除細動)。

心室細動は心臓の心室が小刻みにふるえる状態で、本来のポンプ機能がなくなるため、数分間続くと死にいたる危険な不整脈です(右図)。心室細動を伴う心臓突然死を起こす人の多くは、不整脈、虚血性心疾患(心筋梗塞など)、肥大型心筋症といった心臓病を持っています。日本における突然死は年間約8万人と推定されていますが、そのおよそ半分が心臓突然死で、毎日100人以上の方が亡くなっています。

心停止の場合の死亡率は、心停止から3分で50%、5分で100%と言われています。救急車が現場に到着するまでの全国平均時間は約6分ですので、AEDの必要性が理解できると思います。ただし、AEDを含めた基本的な心肺蘇生法、救急車による移送、救急救命士による処置、救命救急センター等による医療が、スムーズに連携してはじめて救命が可能になります(救命の連鎖)。

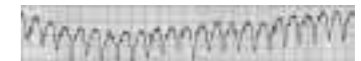
2001年に航空機内での客室乗務員による使用は医師法等には抵触しない旨の通達があり、2003年に医師の指示なく救急救命士の使用が許可され、ついに2004年7月一般人による使用が解禁されました。このために空港、船、ホテル、体育館、学校などにAEDの配備が進んでいます。

心停止の時は、従来の基本的な心肺蘇生法(ABC)にAEDを追加する(ABCD)と考えた方がよいでしょう。心肺蘇生法の実施方法は以下の通りです。

正常の心電図



心室細動の心電図



#### 心肺蘇生法の実施方法

- 1 意識があるかないかを調べる  
意識の確認
- 2 救急車を呼ぶ  
心停止の可能性があれば、AEDを手配する
- 3 気道確保と呼吸確認  
A...Airway
- 4 人工呼吸  
B...Breathing
- 5 心臓マッサージ  
C...Circulation
- 6 AEDを実行する  
D...Defibrillation



保健管理センターにあるAEDの使用手順を説明しましょう

- 1 電源ボタンを押して電源を入れる  
以下、音声の"指示"に従う。
- 2 電極を接続して下さい  
本体と接続している電極パッドを患者の胸部に貼る。
- 3 解析ボタンを押して下さい ▶ 患者に触れないで下さい ▶ 解析中です  
AEDが自動的に患者の心電図を解析している。
- 4 除細動が必要です ▶ 患者に触れないで下さい ▶ 通電ボタンを押して下さい  
AEDから除細動の指示が出たので、通電ボタンを押す。
- 5 患者に触れないで下さい ▶ 解析中です ▶ 除細動は必要ありません ▶ 脈拍を確認して下さい  
再度除細動が必要な場合は、音声の指示により(4)に戻る。
- 6 救急隊員や医師に引き継ぐまで、電極パッドをはがさず、患者を観察し必要があれば心肺蘇生法を行う。

意識消失は心停止だけでなくさまざまな原因でおきますが、実際の救急の現場では、一般の方は心停止すなわち脈の確認をしなくても結構です(AHA2000)。まずはAEDを含めた心肺蘇生法を体験的に学習することで、市内で遭遇した場合に役立つこともあるでしょう。このための健康教室を、保健管理センターで随時開催しますので、保健管理センターホームページなどをみて参加して下さい。

# 第54回関東甲信越大学体育大会

今大会は、13大学約5,700人の学生・教職員が参加し、主管校の山梨大学他3大学（都留文科大学、埼玉大学及び群馬大学）を当番校として8月16日から8月28日までの日程で実施されました。

本学からは、約300人の選手が全17種目（ただし、陸上競技女子とバドミントン女子は、不参加）に参加しました。種目別成績は、次表のとおりです。



緊張の瞬間～剣道～



男子団体戦、男子・女子個人戦入賞  
～柔道～



ガッツポーズ～ソフトテニス～

今回の成績を昨年の大会と比較すると、優勝、準優勝、第3位までの成績の総数では、今回は12で昨年の16を4つ下回る結果となりましたが、テニス女子及び体操男子が優勝したので、優勝した数は、昨年を2つ上回る結果となりました。

中でも、体操男子は、46年ぶり6度目の優勝で、筑波大学の19連覇を阻止しました。

また、卓球男子は6年連続、卓球女子は9年連続、水泳男子は3年連続、ラグビーは7年連続と優勝を重ねています。



喜びの笑顔～ソフトテニス～



参加選手と山崎先生～陸上～



トレーニングの成果を発揮  
～陸上～



1cmでも高く



1mでも遠くへ

## 第54回 関東甲信越大学 体育大会



疾風の如くトラックを駆け抜けろ!!

### 団体戦成績一覧

競技種目	成績			競技種目	成績		
	優勝	準優勝	第3位		優勝	準優勝	第3位
陸上競技	男	筑波大学	宇都宮大学	サッカー	筑波大学	埼玉大学	茨城大学
	女	都留文科大学	山梨大学				宇都宮大学
テニス	男	群馬大学	宇都宮大学	柔道	筑波大学	埼玉大学	茨城大学
	女	新潟大学	茨城大学				新潟大学
卓球	男	新潟大学 6年連続優勝	茨城大学	体操	男	新潟大学	筑波大学
	女	新潟大学 9年連続優勝	宇都宮大学			山梨大学	新潟大学
剣道	男	茨城大学	埼玉大学	硬式野球	筑波大学	山梨大学	埼玉大学
	女	埼玉大学	茨城大学				茨城大学
準硬式野球		筑波大学	群馬大学	ラグビー	A	横浜国立大学	横浜市立大学
		筑波大学	群馬大学				群馬大学
		筑波大学	群馬大学				信州大学
バスケットボール	男	筑波大学	埼玉大学	バドミントン	男	群馬大学	埼玉大学
	女	信州大学	筑波大学			横浜市立大学	
バレーボール	男	筑波大学	宇都宮大学	弓道	男	千葉大学	新潟大学
	女	筑波大学	山梨大学				信州大学
水泳	男	新潟大学 3年連続優勝	埼玉大学	空手	防具	埼玉大学	山梨大学
	女	茨城大学	群馬大学				千葉大学
ソフトテニス	男	群馬大学	横浜国立大学	空手	自由	山梨大学	信州大学
	女	群馬大学	茨城大学				新潟大学

# 大滝優果(教育人間科学部4年)さんが優秀賞を授賞

—日本学生支援機構(JASSO)「優秀学生顕彰事業」—

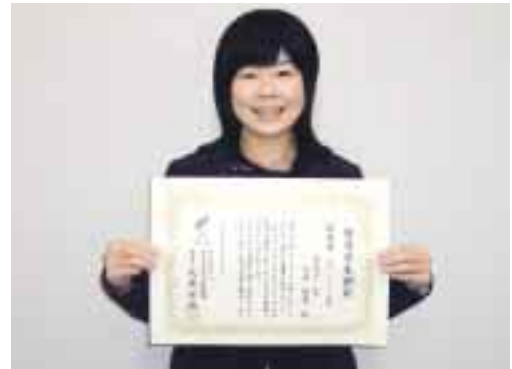
独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、平成17年度から新たな事業として、学問や文化・芸術活動、スポーツ活動、社会貢献活動の分野で優れた業績を挙げた学生に対して、これを奨励・援助し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に貢献することを目的とした「優秀学生顕彰事業」を実施しました。

本学からは、教育人間科学部4年の大滝優果さんが「ボランティア活動等の分野」で、平成16年に発生した「7.13水害」や「新潟県中越大地震」での「震災ボランティア本部」の立ち上げ、様々なボランティア活動の企画、学生の派遣などの支援活動が社会的に高い評価を得たこと、及びその実績を基にしての人生や学業での将来構想等が評価され優秀賞を授賞しました。

この顕彰事業は、来年度以降も継続して実施されます。様々な分野で頑張っている皆さんの応募をお待ちしています。

詳細は、JASSOのホームページ(<http://www.jasso.go.jp/kensyo/index.html>)を参照してください。

■学内担当係：学務部学生生活支援課奨学金担当



去る12月17日に行われた表彰式で、賞状と奨励金が渡されました。

## 広報委員会第1部会

### 部会長・編集委員長

寺田員人(医歯学総合病院)  
TEL 262-2975 tera@dent.

### 委員

石坂妙子(教育人間科学部)  
TEL 262-7116 ishizaka@ed.

岡田昌浩(法学部)  
TEL 262-6545 okada@jura.

高山 誠(経済学部)  
TEL 262-6557 takayama@econ.

竹内照雄(理学部)  
TEL 262-6346 takeuchi@math.sc.

牛木辰男(医学部医学科)  
TEL 227-2058 t-ushiki@med.

川瀬知之(歯学部)  
TEL 227-2927 kawase@dent.

谷口正之(工学部)  
TEL 262-6716 mtanig@eng.

田山英治(大学院自然科学研究科)  
TEL 262-7741 tayama@gs.

横山肇介(脳研究所)  
TEL 227-2163 myoko@bri.

岩本義男(学務部長)  
TEL 262-6080 iwamotoy@adm.

### 事務局(学務部)

TEL 262-7337 FAX 262-7516

E-mailのアドレスは、  
[niigata-u.ac.jp](mailto:niigata-u.ac.jp)の標記を省略しています。



## 編集後記

新潟の冬は雨と風が特徴だと思います。この季節は、室内にいる時間が長くなり、読書する時間が長くなると思っています。4年間の学生生活でどのくらいの本を読むのでしょうか。本の選択肢として、この新大広報がお役に立てば幸いです。

●編集委員長 寺田員人

新潟大学にはどのくらい知的財産があるのか、授業で出会う先生が熱意を持って取り組んでいる研究テーマは何か。普段は顕在化しにくいその問題を、「新潟大学教員の著書」を提示することで、学生諸君に広く知ってもらおう、というのが本特集の目的です。保存版としてご活用下さい。

●編集委員 石坂妙子

今回初めて編集委員を担当しましたので、企画・原稿集め・デザインなどの作業を興味深く感じ、そして体験させて頂きました。記事の内容も大切ですが、広報誌では表紙やデザイン、レイアウトも大切で、いかに読みたいと思ってもらえるかを考えるのは、大変難しいことと思いました。

●編集委員 竹内照雄

■新潟大学ホームページ■

<http://www.niigata-u.ac.jp/>